

叙勲 瑞宝双光章 受章



順和会放射線室 室長

しのはら けんいち
篠原 健一

昭和34年11月26日生（65歳）

【経歴】

昭和56年 3月	城西放射線技術専門学校	卒業
平成23年 3月	放送大学教養学部	卒業

【職歴】

昭和53年 4月	東京医学検査研究所	入職
昭和60年 2月	同	退職
昭和60年 3月	河北総合病院画像診断部	入職
平成29年 3月	同	退職
平成29年 4月	河北健診クリニック	入職
令和 1年12月	同	退職
令和 2年 4月	順和会放射線室	入職
	現在に至る	

【団体歴】

平成 5年 4月～平成13年 3月	社団法人東京都放射線技師会 地区委員
平成13年 4月～平成17年 3月	社団法人東京都放射線技師会 理事（渉外担当）
平成17年 4月～平成23年 3月	社団法人東京都放射線技師会 理事（総務担当）
平成23年 4月～令和 4年 6月	公益社団法人東京都放射線技師会 会長
平成26年 6月～令和 4年 6月	公益社団法人日本診療放射線技師会 理事

【賞罰歴】

平成13年 6月	杉並救急業務連絡協議会 感謝状
平成14年 5月	社団法人東京都放射線技師会 功労賞
平成22年 5月	東京都福祉保健局長 感謝状
平成24年 9月	公益社団法人日本診療放射線技師会 永年勤続表彰
平成29年 6月	厚生労働大臣表彰
令和 5年 9月	公益社団法人日本診療放射線技師会 功労賞
令和 5年10月	東京都功労者表彰

「瑞宝双光章」受章にあたり

篠原健一

令和6(2024)年11月3日(文化の日)付けにて、東京都診療放射線技師会の推薦により、瑞宝双光章を受章致しました。同11月18日には皇居宮殿「豊明殿」にて天皇陛下に拝謁の栄を賜りましたのでご報告申し上げます。

江田哲男会長はじめ推薦事務諸般を取り仕切っていただいた高野修彰理事(渉外委員長)、現役員・表彰委員の皆さま、任期中にご一緒させていただいた元役員・諸先輩の皆さま、そして会員の皆さまに心より御礼申し上げます。

2011年3月、私の本会会長就任が決まった日に橋本宏顧問(当時)が「会長ってのはね、大きな声を出すんだよ」と仰いました。その時は馬鹿単純に「就任の挨拶の時の声が小さかったのかな?」と思ったのです。でもそれは、「大きなビジョンを示せ」ということでした。

私の声(ビジョン)は小さかったかもしれませんが、それを大きくしてくれた仲間やご指導いただいた先輩方、そして支えてくださった会員の皆さまのご功績が評価されたものと思っております。

私が診療放射線技師になるために学んだ母校の校訓は「報恩感謝」でした。以来、座右とし「感謝」の気持ちは忘れたつもりはありません。しかしながら「報恩」についてはまだまだです。残された人生はそれほど長くはありませんが、斯界の発展に少しでもお役に立てますよう余命を過ごしたいと考えています。

東京都診療放射線技師会の一層の発展並びに国民医療への貢献と皆様方のご健勝を祈念申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。

篠原健一様 瑞宝双光章ご受賞 祝辞

会長 江田哲男

このたび、本会顧問であられる篠原様が、本会の推薦により令和6年秋の叙勲「瑞宝双光章」を受章されましたことを謹んでご報告申し上げますとともに、心よりお祝い申し上げます。

篠原様は、平成13年4月から平成23年3月までの10年間にわたり理事および渉外委員長、総務委員長としてご尽力いただきました。その後、平成23年4月には本会会長(代表理事)に就任され、令和4年6月までの6期11年間にわたり、会の発展に多大なる貢献をしてくださいました。

会長としての主な実績には、平成23年の福島第一原発事故後における都内避難所での放射線サーベイ活動(東京都より団体功労表彰、厚生労働省より感謝状授与)、公益社団法人への移行、総会の代議員制への移行、日本診療放射線技師会と連携した「業務範囲拡大に伴う統一講習会」の実施、さらに国際化事業の推進(ソウル放射線士会との学術交流協定締結)など、数多くの功績が挙げられます。

また、令和元年度には関東甲信越診療放射線技師学術大会・東京大会の大会長を、令和3年には第37回診療放射線技師学術大会ならびにAACRT(アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会)、EACRT(東アジア学術交流大会)の大会長を務められました。この際、組織として初のハイブリッド方式(対面およびオンライン形式の併用)を採用し、大会を成功に導かれたことは特筆すべき成果です。

このたびの瑞宝双光章ご受章は、篠原先生の診療放射線技師としての輝かしいご業績が国民福祉に多大な貢献を果たされたことへの高い評価であると存じます。改めて篠原先生のこれまでのご尽力に深く敬意を表し、今後ますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。併せて、本会への引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。